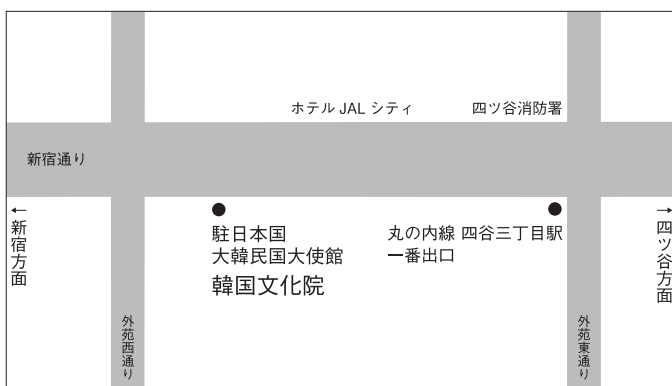


「私の中の韓国」

2012年4月～10月(毎月1回) 開場／18:30 開演／19:00 入場無料

会場／韓国文化院 ハンマダンホール

4/25	梁石日 (聞き手/スッカラ主幹 郭充良) 「在日文化の現状」
5/23	黒田福美 「韓国地方の旅 ～文化も人情もホンモノは田舎にこそあり～」
6/27	平松洋子 「韓国の味を読み解く」
7/25	中上紀 「私のパワースポット韓国」
8/29	大鶴義丹 「映画製作者にとっての韓国映画」
9/19	十五代 沈壽官 「四百年の時空」
10/24	桜井泉 「日本人の韓国朝鮮観、新聞の見た韓半島」



韓国文化院 ハンマダンホール
東京都新宿区四谷 4-4-10 TEL / 03-3357-5970

申し込み方法

韓国文化院のホームページ会員 150 名様、月刊「スッカラ」購読者 100 名様をご招待いたします。

韓国文化院ホームページ会員／韓国文化院のホームページ「イベント応募コーナー」からお申し込みいただけます。

詳しくは、韓国文化院のホームページをご確認ください。 www.koreanculture.jp

月刊「スッカラ」購読者／「往復はがき」またはスッカラのホームページからお申し込みいただけます。

詳しくはスッカラホームページをご確認ください。 www.sukkara.com

梁石日 (ヤン・ソギル)

1936年大阪生まれ。デビュー作『タクシー狂躁曲』は「月はどっちに出ている」として映画化。『血と骨』第十一回山本周五郎賞を受賞し、ビートたけし主演で映画化された。著書に『夜の河を渡れ』『夜を賭けて』(映画化)『魂の流れゆく果て』『闇の子供たち』(映画化)『冬の陽炎』『めぐりくる春』他多数。

黒田福美 (くろだふくみ)

俳優として活躍する一方、芸能界きっての韓国通として知られる。2011年には韓国政府より「修交勲章 興仁章」を授与。韓国観光名誉広報大使、「日韓交流おまつり」実行委員、浦項市広報大使、麗水エキスポ広報大使を務る。著書に『ソウルマイハート』『ソウルの達人 最新版』他多数。

平松洋子 (ひらまつようこ)

エッセイスト。世界各地で取材をし新聞・雑誌・書籍など食文化と暮らしをテーマに執筆。主著に『なつかしいひと』(新潮社)『サンドウィッチは銀座で』(文藝春秋)『買えない味』(筑摩書房 Bunkamura ドゥマゴ文学賞受賞)『おいしい日常』(新潮文庫)『食べる旅 韓国むかしの味』(新潮社) 他多数。

中上紀 (なかがみのり)

作家。武蔵野大学、日本大学非常勤講師。ハワイ大学卒業後アジア各地を旅行し『イラワジの赤い花 ミャンマーの旅』(集英社)を上梓。『彼女のプレнка』ですばる文学賞を受賞(集英社)。著書に『水の宴』(集英社)、『月花の旅人』(毎日新聞社)、『海の宮』(新潮社)、『熊野物語』(平凡社)、他多数。

大鶴義丹 (おおつるぎたん)

俳優、小説家、映画監督。映画、舞台、ドラマ、バラエティ、ナレーションなど多方面で活躍。大学在籍中に『スプラッシュ』ですばる文学賞を受賞して以来小説家としての著書も多数。また映画監督、脚本も手掛けており、2012年春には最新監督作品「キリン POINT OF NO RETURN」が公開された。

十五代 沈壽官 (ちんじゅかん)

1959年生まれ。99年十五代沈壽官を襲名。早稲田大学卒業後、京都市立工業試験場、京都府立陶工高等技術専門学校を修了。1986年にイタリアに渡り、国立美術陶芸学校 GAETANO BALLARDINI ファエンツァ校専攻科にて学ぶ。90年京畿道金一萬土器工場にてキムチ壺制作で修業。

桜井泉 (さくらいずみ)

朝日新聞国際報道部記者。84年朝日新聞社入社、熊本、北九州市などで勤務。91年から一年間、ソウル・新村で下宿をしながら語学研修。帰国後、日韓関係、日韓文化交流、韓国大統領選などを取材、韓国のほぼ全域を踏破した。韓国観光公社主催の中生韓国修学旅行感想文コンクール審査員。

主催：駐日韓国大使館 韓国文化院 企画協力：スッカラ